

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-506821(P2008-506821A)

【公表日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-009

【出願番号】特願2007-521817(P2007-521817)

【国際特許分類】

C 0 9 J 201/02 (2006.01)

C 0 9 J 201/06 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 201/02

C 0 9 J 201/06

C 0 9 J 11/06

C 0 9 K 3/10 Z

C 0 9 K 3/10 E

C 0 9 K 3/10 D

B 3 2 B 27/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月16日(2008.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも成分(A)および(B)を含んでなる結合剤系であって、

a) 成分(A)として、少なくとも2つの環状カーボネート基を有する化合物または2以上の少なくとも2つの環状カーボネート基を有する化合物の混合物と、

b) 成分(B)として、少なくとも2つの(−NHR−)原子団を有する化合物または2以上の少なくとも2つの(−NHR−)原子団を有する化合物の混合物〔式中、RはH、アルキル基またはアリール基である〕とを含んでなり、

成分(A)は、 $\geq 1, 000 \text{ g/mol}$ の平均分子量(M_n)を有する、結合剤系。

【請求項2】

成分(A)は、 $1, 500 \text{ g/mol} \sim 100, 000 \text{ g/mol}$ の平均分子量(M_n)を有する、請求項1に記載の結合剤系。

【請求項3】

成分(A)は、環状カーボネート基を有するポリマーであり、該ポリマーは、脂肪化合物、ポリエーテル、ポリエーテルポリオール、ポリエステル、ポリエステルポリオール、ポリカーボネート、ポリカルボン酸、ポリアクリレート、ポリメタクリレート、ポリアミド、ポリアミン、ポリウレタンまたはそれらの混合物の群から選択される、請求項1または2に記載の結合剤系。

【請求項4】

成分(A)は、環状ヒドロキシアルキルカーボネートと、無水物基、 $C_1 \sim C_4$ アルキ

ルエステル基またはイソシアネート基を有するポリマーとの反応生成物である、請求項 1～3 のいずれかに記載の結合剤系。

【請求項 5】

環状ヒドロキシアルキルカーボネートは、5 員または 6 員のカーボネート環を有する、請求項 4 に記載の結合剤系。

【請求項 6】

成分 (A) は、エポキシド基を有するポリマーへの二酸化炭素の付加生成物である、請求項 1 または 2 に記載の結合剤系。

【請求項 7】

成分 (A 1) として、 $< 1000 \text{ g/mol}$ の平均分子量を有する環状カーボネート基を有する化合物が、成分 (A) に基づいて 60 重量%の量でさらに存在する、請求項 1～6 のいずれかに記載の結合剤系。

【請求項 8】

成分 (B) は、成分 (B 1) として、 $60 \text{ g/mol} \sim 500 \text{ g/mol}$ の平均分子量 (M_n) を示し、または成分 (B 2) として、 $\geq 500 \text{ g/mol}$ の平均分子量 (M_n) を示し、ここで成分 (B) は、成分 (B 1) または (B 2) のいずれかとして、あるいは (B 1) と (B 2) との混合物として存在する、請求項 1～7 のいずれかに記載の結合剤系。

【請求項 9】

成分 (B 2) は、 $800 \text{ g/mol} \sim 2,000,000 \text{ g/mol}$ の平均分子量 (M_n) を有する、請求項 8 に記載の結合剤系。

【請求項 10】

成分 (B 1) は、アルキレンジアミン、シクロアルキレンジアミン、アミノ官能化ポリアルキレングリコールおよび／または多官能性アミンの群から選択される、請求項 8 に記載の結合剤系。

【請求項 11】

成分 (B 2) は、ポリアミン、ポリイミン、ポリエーテル、ポリアミド、ポリアミノアミド、ポリウレタン、ポリオレフィン、ポリビニルアミンまたはそれらの混合物の群から選択されるポリマーである、請求項 8 または 9 に記載の結合剤系。

【請求項 12】

成分 (B 2) は、高分枝状ポリマーを示す、請求項 8 または 9 に記載の結合剤系。

【請求項 13】

請求項 1～12 のいずれかに記載の結合剤系を使用する接着剤／シーラントの製造方法であって、成分 (A) を、 $30:1 \sim 0.2:1$ のカーボネート基と第 1 級アミン基との比率で成分 (B) と混合することを含む（ここで第 1 級アミン基の非存在下においては、該混合比率は、第 2 級アミン基に対して適用される）、方法。

【請求項 14】

紙、ボール紙、木材、プラスチック、金属または陶器を接着するための 2 成分接着剤としての、請求項 1～12 のいずれかに記載の結合剤系の使用。

【請求項 15】

溶媒非含有または溶媒含有積層接着剤としての、請求項 14 に記載の結合剤系の使用。

【請求項 16】

建築用発泡体または流動性シーリング化合物を製造するための、請求項 14 に記載の結合剤系の使用。

【請求項 17】

複合フィルムの製造方法であって、少なくとも 2 つの同一または異なるプラスチックフィルムを、請求項 1～12 のいずれかに記載の結合剤系を使用して部分的にまたは完全に接着することを含む、方法。

【請求項 18】

請求項 17 に記載の方法で製造された複合フィルム。